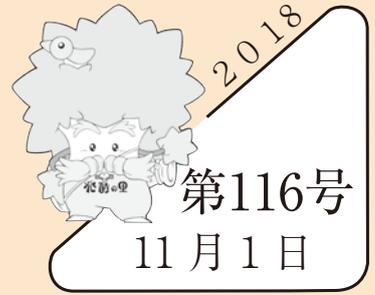




こうざき

議会だより



第116号

11月1日

発行・神崎町議会 編集・議会広報編集特別委員会 ☎289-0292 千葉県香取郡神崎町神崎本宿163 ☎0478 (72) 2115

敬老大会



いつまでもお元気で健やかに!



米寿を迎えた方に記念品贈呈



客席を回り歌声を届けます

第3回定例会 P2
決算 P3

一般質問 P7
議会の動きなど P10

平成30年第3回定例会

平成29年度各会計決算を認定

一般会計1億7846万円の黒字

平成30年第3回定例会を、9月5日から14日までの会期10日間で開催しました。

会議では、教育委員等の任命同意、固定資産評価審査委員会委員の選任同意、条例の制定、補正予算並びに平成29年度決算の認定が審議され、全ての議案が同意、可決、認定されました。

一般質問では、3名の議員から町政全般にわたり活発な質問が行われました。



議会の様子

議案等の概要

◎神崎町教育委員会教育長等の任命同意

9月30日をもって任期が満了する教育長に、椿 勇氏（毛成在住）を、同じく任期満了になる教育委員に岡野公子氏（松崎在住）を再任することに同意しました。

また、教育委員でありました巻嶋 守氏が急逝されたため、その後任として松岡克弘氏（神崎本宿在住）を新たに教育委員として任命することに同意しました。

◎神崎町固定資産評価審査委員会委員の選任同意

9月30日をもって任期が満了する固定資産評価審査委員会委員に、七五三敏信氏（大貫在住）を再度選任することに同意しました。



提案理由を述べる石橋町長

◎神崎町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定

平成30年度から居宅介護支援事業者の指定権限が、県から市町村に委譲されたことに伴い、人員や運営に関する基準の条例を制定するものです。

◎平成30年度神崎町一般会計補正予算（第2号）

既定予算に4800万円を増額し、予算総額を25億6100万円とするものです。歳入の主なものは、臨時職員の制度改正に伴う例規の整備、わくわく西の城体育館の耐震補強設計、伊地山クリーンセンターの焼却炉緊急修繕に係る経費等です。

また、歳入は、国庫補助金と前年度の繰越金です。

◎平成30年度神崎町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

既定予算に1600万円を増額し、総額を8億1600万円とするものです。主なものは、前年度負担金等の精算に伴い、国及び社会保険診療報酬支払基金への返還金です。

◎平成30年度神崎町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

既定予算に790万円を増額し、総額を5億4790万円とするものです。主なものは、介護保険基金への

補正予算の概要（主なもの）

会計名	補正額	補正の内容	
一般会計	4,800万円	・臨時職員の制度改正に伴う例規整備等	529万円
		・わくわく西の城体育館耐震補強設計	660万円
		・伊地山クリーンセンター焼却炉緊急修繕	1,922万円
		・地域福祉計画策定事業	171万円
		・町道維持管理事業（排水整備工事等）	978万円

積立金366万8千円と前年度国・県の負担金精算による返還金です。

審議の結果（第3回定例会）

件 名	結 果	賛 否 数
町長提出議案 ○印は議案番号		
①神崎町教育委員会教育長の任命同意	同 意	全員一致
②神崎町教育委員会教育委員の任命同意	同 意	全員一致
③神崎町教育委員会教育委員の任命同意	同 意	全員一致
④神崎町固定資産評価審査委員会委員の選任同意	同 意	全員一致
⑤神崎町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定	原案可決	全員一致
⑥平成30年度神崎町一般会計補正予算（第2号）	原案可決	全員一致
⑦平成30年度神崎町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全員一致
⑧平成30年度神崎町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全員一致
決算認定議案		
①平成29年度神崎町一般会計歳入歳出決算の認定	認 定	全員一致
②平成29年度神崎町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認 定	全員一致
③平成29年度神崎町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認 定	全員一致
④平成29年度神崎町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認 定	全員一致
⑤平成29年度神崎町水道事業会計決算の認定	認 定	全員一致



議会の様子

平成29年度決算は、9月5日に上程され、渡辺英男代表監査委員から意見書の説明を受け、その後、6日に総務文教常任委員会、7日にまちづくり厚生常任委員会で審査を行い、13日本会議で審議し、全て認定されました。主な質疑、討論は次のとおりです。

**平成29年度
一般会計ほか4会計の決算を認定**

平成29年度会計別決算額

会 計 名	決 算 額		差 引 額	
	歳 入	歳 出		
一 般 会 計	27億9262万円	26億1416万円	1億7846万円	
特別会計	国民健康保険	9億7577万円	9億1107万円	6470万円
	介護保険	5億5517万円	5億5416万円	101万円
	後期高齢者医療	7148万円	7118万円	30万円
	小 計	16億0242万円	15億3641万円	6601万円
水道事業(収益的収支)	2億1653万円	1億7861万円	3792万円	
合 計	46億1157万円	43億2918万円	2億8239万円	

監査委員からの
意見(要旨)



渡辺代表監査委員

平成29年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書は、関係法令に基づく諸帳簿と照合の結果正確であり、予算の執行も概ねその目的に沿い、適法になされているものと認められました。しかし、少子高齢化、人口の減少など地域の現状と課題を踏まえ、事務事業のより一層の工夫・改善が必要と考えます。

また、多額の財政調整基金を持ったことは評価できるが、今後は基金を有効活用し、住民ニーズに的確に対応し、活気ある神崎町の創造のため、効率的な行財政運営に努められることを望むものであります。

総括
質問

総務文教常任委員会



椿常任委員長

問 財政調整基金は、今後どのようなものに使う予定ですか。

答 平成29年度末における財政調整基金残高は、14億2465万2千円となりました。

今後、どう活用していくかということですが、過去に建設をしてきた公共施設等について、老朽化対策や耐震補強など、大規模改修の時期が到来してまいります。

来年度は役場庁舎・町民体育館等の耐震工事を予定しております。これらの事業についての大きな財源のひとつとして活用するほかに、

高齢化の進行に伴う社会保障関係経費、国の政策変更による地方交付税の削減、そして大規模災害など、不測の事態にも備える必要があると考えております。

問 町税が昨年より増えた理由は何か。

答 普通町税(現年分)全体を見ると、前年度の決算額と比較して、調定で1.4%増の約1000万円、収納額でも1.4%、約950万円の増収となりました。その増収の要因としては、個人町民税において、景気回復の兆しを背景に、所得割額が前年より約1000万円増加したことにより、町民税が前年比4%増加したことが増えた理由と考えられます。

問 住民票等のコンビニ交付の実績及び今後どのように普及させていくつもりなのか。個人番号カードの普及

と併せて説明して下さい。

答 昨年12月18日より、全国のココンビニで住民票と印鑑証明書が取得できるようになりました。平成29年度の実績は、住民票15通、印鑑証明書17通となっております。個人番号カードの普及については、平成29年度末に累計で784件、町民の約13パーセントの方が取得しています。



これからは、いつでも、どこでも、マイナンバーカードで!

コンビニ交付開始

個人番号カードの取得方法及びコンビニ交付利用については、町広報への掲載及び町

民課の窓口来庁者に、啓発用のチラシを交付する等により普及を図っていきます。

問 重症化予防事業(国保)の詳細について、説明して下さい。

答 糖尿病性腎症の発症・重症化のリスクを有する、糖尿病未治療者・健診未受診者・治療中断者・糖尿病により受診中で重症化リスクの高い者等に対して受診・継続受診を勧奨すると併せて適切な保健指導を行い、糖尿病性腎症の重症化を予防し、ひいては人工透析への導入を阻止し、町民の健康増進と医療費の適正化を図ることを目的として、保健福祉課の保健師、管理栄養士の協力により実施しております。

問 米沢小学校の複式学級の解消は、どのようにしているのか。

答 千葉県の学校定員配置基準により、12学級以下の学校には1名の増置教員を配置すると定められているた

め、米沢小学校には1名の教員が配置されています。

平成29年度は、2年生と3年生及び5年生と6年生の合計児童数が複式学級の基準である16人以下に該当したので、複式学級は、2クラスでした。

配置されている増置教員を1人クラスに配置し、学校教員の免許状を有する方を町臨時職員として雇用し、複式学級に充てて複式学級の解消に努めました。

問 スポーツ推進員は、どのような活動をしているのか。

答 神崎町スポーツ推進委員は、現在12名で、町民の健康づくり、体力づくりを普及促進することを目的に活動しています。

活動の内容ですが、5月に行う歩け歩け会、7月に行うグラウンドゴルフ大会、1月に小学生を対象に行うスキー教室などです。

最近では、自分自身の体力や筋力を知り、これからの健康づくりのきつかけづくりとして行っている、町民体

力測定を千葉県総合スポーツセンターで実施しています。また、町民運動会の運営についても、スポーツ推進委員が中心となって活動しております。



グラウンドゴルフ大会のようす

スポーツ推進委員の活動は、教育委員会が主に計画している体育事業について、行っております。

まちづくり厚生常任委員会



木内常任委員長

問 保育所で0、1歳児の待機児童が出つつある。現在増築しているが、何人受け入れできるのか。また、保育士1人でみられる人数は何人ですか。

答 現在、米沢保育所に増築している乳児室は53㎡で、単純に1人当たり必要面積3.3㎡で割りかえすと約16人になります。しかし、備品の設置等考慮した場合、実質的には10人程度が適当と思われる。

また、保育士1人で見られる人数は、0才児は3人、1・2才児は6人、3歳児は20人、4・5歳児が40人となっています。

問 発酵文化振興事業について、詳細を説明して下さい。

答 発酵文化振興事業は、発酵によるまちづくりの一環として、発酵文化の普及・推進のため、平成29年度から始まった新規事業であります。具体的には、みそづくり、藍染め体験等の体験講座を道の駅と共同で開催し、計21回延552人の参

加をいただきました。参加者からも好評を頂いており、発酵による集客のまちづくりとして、ある程度の成果を挙げることが出来たと思います。



藍染め体験

2年目となる発酵文化振興事業ですが、体験教室を通じた発酵のまちづくりの推進のみならず、発酵文化の教育・継承を目的とした教育分野との連携、発酵による健康づくりや食育を目的とした福祉分野との連携を視野に入れ、各分野において活力あるまちづくりの推進を図っていききたいと考えています。

問 道の駅に係る整備について、今後の計画はあるのか。

答 道の駅は平成27年4月にオープンし、昨年新鮮市場棟がリニューアルオープンしたところです。施設的な整備については、補完的な軽微なものを除きほぼ終了しましたが、松崎集落南側の神宿松崎線の整備をはじめとした、道路環境整備については、今後も継続して実施していくところです。



委員会審査のようす

問 毛成堀籠線の地質調査を実施したが、今後の工事等の見通しはどうか。

討 論

答 今後の事業の見通しですが、地質調査が終了し、軟弱地盤であるため、その結果を基に軟弱地盤の解析業務を実施し、対策工法等の検討を行いたいと考えております。

なお、平成30年度は現況測量を実施しており、平成31年度に道路詳細設計及び橋梁の予備設計を、平成32年度には橋梁詳細設計と用地買収に着手したいと考えております。

問 災害等で電気の供給が止まった場合、水道はどのような対応をするのか。

答 水道は、停電になっても電動の配水ポンプを動かし、皆様へ水道水が送れるように非常用発電機を備えています。発電機は、配水ポンプがある古原浄水場に1台、そして、井戸からの取水を行うために可搬式を1台用意しています。

数時間の停電であれば、配水池に1000トン以上の水が常にありますので、圧送する配水ポンプがある古

原浄水場のみ非常用発電機から電源を供給し、通常どおり水道水を供給します。



可搬式発電機

また、長時間の停電が想定される場合、取水、浄水を行う必要があるため、非常時の策として、電力消費量の少ない地下水系での運転に切り替える予定です。その場合、古原浄水場と同じ場内の1号井、そして場外の3号井を非常用発電機にて電源を確保し、取水、浄水を行い非常時の策としています。



水道水

反対なし

賛成 椿 等議員

平成29年度一般会計・特別会計決算の認定について、賛成の立場から討論を行います。一般会計は歳入総額27億9262万4千円で、前年比3.1%の減となり、歳出総額は26億1416万4千円で、前年比1.0%の減となりました。

平成28年度決算に引き続き、歳入歳出ともに減額となっています。

歳入では、町税が7億593万円で前年比0.6%の増となつていますが、地方交付税が9億5104万2千円で前年比3.7%の減額、国庫支出金が道の駅事業の終了により1億9004万3千円で前年比26.7%の減額となっています。

数年前まで、道の駅の建設などにより、予算規模が

30億円以上に膨らんでいましたが、徐々に通常の規模に戻つていると考えられます。

しかし、こうした中でも財政調整基金は1億8224万8千円を積み立て、計14億2465万2千円となり、他の基金と合わせて、全体で、18億447万6千円と財政基盤の安定を図っています。

道の駅事業は二段落しましたが、税や証明書のコンビニでの取り扱いの実施、高齢者・障害者福祉の充実やこども医療費助成、給食費全額助成などの少子化対策、自給率向上事業などの農業対策、酒蔵まつりなどの観光事業などについて幅広く施策を実施し、成果を上げていきます。

特別会計においては、国民健康保険事業で5000万円を基金積み立てし、水道事業では安全な水を供給するため、職員が24時間管理を行っていますが、無駄な支出を減らし、安定した経営を行っています。

以上、平成29年度決算は経費の削減に努め、予算が的確に実施されており、評価できるものであり、平成29年度の一般会計、特別会計の決算に対する賛成討論といたします。



昨年リニューアルした新鮮市場棟

事業の執行においては、道の駅第2駐車場整備事業で、

あなたも議会を傍聴しませんか？

次回（第4回定例会）は、12月に開催されます。ぜひ傍聴にお越しください。

町の水道事業の将来は どうなるのか

鈴木節子
議員



問 水道管の耐用年数は40年というが、それを超えているものはどれくらいか。

まちづくり課主幹 石綿菅の布設替えをしていますが、残り10メートルです。

問 新しく替えるのにどれくらいか。

まちづくり課主幹 今年度中に予定しております。

問 日本水道協会による水道の平均料金月3228円と比べて、町の水道料金はどうなっているか。

まちづくり課主幹 県内45団体中33番目で、4320円となります。

問 今、水の使用量の減少

で、料金収入が落ち込んでいて自治体も多いと聞きますが、町ではどういう状況か。

まちづくり課主幹 今年度は、給水収益が多少上がっております。

問 水道事業者には更新費用を含めて経費を料金収入などで賄う独立採算が求められているが、料金で賄えない原価割れについて町は大丈夫なのか。



水道配水(ポリエチレン管)

まちづくり課主幹 一立方

当たり給水原価が2373円で、供給単価は2178円なので、原価割れしています。純利益は3791万円あり

ま

問 さらに人口が減って、水の使用料が減れば、将来的に水道料金は値上げされるのか。

まちづくり課主幹 今後、水道料金を上げざるを得ない状況になってくると思います。

問 なぜ値上げが必要なのか住民にきちんと知らせる必要があると思うが。

まちづくり課主幹 水道運営委員会初め議会の承認を得て、値上げしていくものなので、広報等で周知を図りたいと考えています。

問 将来、水道の技術が継承できなくなった場合、水道から井戸に戻す選択肢は。

まちづくり課主幹 町全体の水質検査を行った結果、半分以上が水質に適合しないので、地下水に戻すことは考えておりません。

小中学の体育館にも エアコンを！

エアコンを！

問 この夏は大変な酷暑で、町は教室には100%入っていると安心してよいのか。

体育館のエアコン設置率は、千葉県では1%位だが、東京都は、約10%あると聞きます。

教育委員会主幹 体育館については現状のところ設置は考えておりません。



避難所となる体育館

問 体育館は終業式や始業式などだけで使うものではない。猛暑でプールも使えなかつたら、夏の体育はどうなるのか。

教育委員会主幹 子どもたちに早めに水分補給させたり、休みを多くするなど健康に留意しながら、体育館の使用をしていきたいと考えております。

問 体育館はいざという時の避難所にもなる。夏は熱中症になりそうで、冬は寒くてたまらず、エアコンはぜひいた

ではない。真剣に話し合ってほしい。総務省の緊急防災・減災事業債が活用できるのではないか。

教育委員会主幹 これから内容を確認していきます。

英語の授業補助に AIロボの活用は

AIロボの活用は

問 話す力を伸ばすため、小学校にもALTが来るとのことだが、今後、ALTが不足することはないか。

教育委員会主幹 今年度から2人のALTが対応しており、町で将来不足することはないと考えます。

問 今、AIを搭載した英会話ロボットを使う学校も出てきて、子ども一人一人が話す時間が格段に増えたというが、検討したことは。

教育委員会主幹 まだ使い始めてどのような結果が検証されたか実績がないので、町は導入しない方向で考えております。

AI(人工知能)：
人工的にコンピューター上で人間と同様の知能を実現したもの



避難情報の基準は？

等 員
格 議



問 避難情報の内容はどうなっているか。

総務課長 平成29年1月に内閣府が改定を行い、最初に避難準備・高齢者等避難開始、次に避難勧告、そして避難指示(緊急)となります。

問 これらについて町民に知らせるにはどうか。

総務課長 ホームページ等で対応したい。

問 避難情報を出す基準は具体的に決めているか。

総務課長 具体的な雨量などの数字は決めていないが、気象庁の情報、巡視による実際の状況などを検討して決めています。

問 避難所に地区コミュニティセンターが指定されているが、危険ではないか。

総務課長 ハザードマップを改訂中で、コミュニティセンターではなく、ふれあいプラザ、道の駅、中学校などを検討しています。

問 非常食はどの程度準備しているか。

総務課長 神崎小学校と米沢小学校の防災倉庫に500食ずつ用意しています。



液状化による被害

問 避難経路の指定はしているか。

総務課長 今のハザードマップには記載していません。
問 新しいハザードマップはどのように周知するのか。
総務課長 来年度、印刷し各戸配布します。またホームページにも掲載します。

成田空港の機能強化について

問 成田空港の機能強化とはどういうことか。

まちづくり課長 一つ目は滑走路の増設と延伸、二つ目は年間発着枠30万回を50万回に拡大、三つめは夜間飛行制限の変更です。

問 新しくC滑走路ができると神崎町への影響はあるか。

まちづくり課長 騒音が増えることはなく、周辺対策交付金の引き上げ、千葉県主体による公共交通網やインフラ整備が計画されることとなります。

問 雇用の関係はどうか。

まちづくり課長 機能強化により神崎町の方の雇用が現在160人から300人に

増えると推測されています。
問 羽田との共存についてどう考えているか。
まちづくり課長 成田空港と羽田空港が機能強化や連携により共存していく事は必要不可欠だと思います。



成田空港第3ターミナル

町の活性化について

問 これまで子育て支援など若者を呼び込む施策を行ってきたがその成果はどうか。

まちづくり課長 給食費の無料化、医療費補助など、若い人たちに確実に浸透しています。今年度から移住定住奨励金交付事業を制度化

し、既に39歳以下の方で4件交付しています。
問 若い人に町をさらに知っていただくために「神崎なんじゃもんじゃ発酵マラソン」を開催してはどうか。
まちづくり課長 関係各課と協議し前向きに検討します。

土地改良事業について

問 町長はこれからの神崎町の農業をどのように考えているか。

町長 農業は人間の命をつなぐ大切なものです。農業人口が減少し、高齢化する原因は所得が少ないことが一番の原因です。町では7つの営農組合が活動し先進地であります。今後も行政として、できる限り対応していきたいと思えます。

問 非効率的な水田を解消するための土地改良事業は現在できるのか。

まちづくり課長 現在も行っています。中間管理機構を使うと地元の工事費負担がゼロという制度が新設されました。

障害者雇用を考える！

石橋伸一 議員



問 神崎町の障害者の雇用状況は、どのようになっていきますか。(役場関係)

総務課長 神崎町の障害者の法定雇用率は、2.5%です。本町の実雇用率は、4.6%ですので、雇用率は達成しています。

問 障害者の雇用についてどのように考えていますか。

町長 国及び地方公共団体は、民間企業に対して障害者の雇用に協力を求める立場であるため、みずから率先垂範して障害者を雇用すべき立場であると考えています。今後も法定雇用率を参考にしながら、障害者の雇用の継

続推進を図っていききたいと考えています。

危険なブロック塀について

問 ブロック塀の点検は、どのような判断基準で行なわれましたか。

教育委員会主幹 ①高さが、2.2m以下になっているか。②厚さが、10cm以上あるか。③長さが、3.6m以下ごとに控え壁を設置してあるか。④コンクリート基礎や鉄筋が中に入っているか、など確認させていただきました。

問 点検の結果は、どのような状況でしたか。

まちづくり課主幹 通学路のブロック塀は、神崎小学校の半径500m以内に85ヶ所、米沢小学校は、94ヶ所設置されています。今後、香取土木事務所建築士の資格を持った担当者として、危険性があるか点検を行います。明

らかに危険と判断された箇所は、点検結果をそのお宅へポスティングし、改修を促す予定です。

教育委員会主幹 学校施設については、神崎小学校、米沢小学校、神崎中学校の外観点検をした結果、危険なブロック塀はありませんでしたが、神崎小学校のプールに一部、規格に適合していないものがありました。

問 指摘されたブロック塀の対策は、どのように行ないますか。



ブロック塀(神崎小プール)

教育委員会主幹 7段ブロッ

クは、3段を切り段数を下げます。また、駐車場側の6段ブロックは、外側に控え壁を2ヶ所設置する改修を、本年度中に行いたいと考えています。

風疹の流行について

問 町の患者数は、どのようになっていますか。

保健福祉課長 千葉県では、平成30年1月1日から8月26日までの風疹の届出状況は84件ですが、神崎町では感染者はありません。町では、風疹予防接種費用の一部助成を行っています。対象者は、妊婦の夫、妊婦の同居家族、妊娠を希望する女性とその夫です。

ふるさと寄付金について

問 寄付金の状況は、どのようなになっていますか。

総務課長 平成29年度は、2333件で535万5千円でした。平成30年度は、4月から8月までの5ヶ月間で47件、120万5千円です。前

年同期をやや上回っている状況です。

問 どのような活用を考えていますか。

総務課長 平成29年度は、観光ガイドブックの増刷、小学校2校へ電子黒板を設置しました。現時点としては、



返礼品カタログ

教育・福祉・観光振興などへ充当することを考えています。

生涯大学との連携について

問 神宿地先にある生涯大学に園芸まちづくりコースが来年度からつくられますので、連携を考えてみてはどうですか。

まちづくり課長 カリキュラムや実習内容、講師の先生からの意見や希望などを確認して、連携、協力できるものであれば、検討していきたいと考えています。

議会の動き

8 月

- 2日 千葉県町村議会議員研修大会(宝田議長、議員)
- 3日 利根川治水同盟治水大会(宝田議長、議員)
- 10日 東庄ポーク&ビア夏祭り2018(宝田議長)
- 18日 SAKAEリバーサイドフェスティバル2018(宝田議長)
- 24日 香取郡市町議会議員研修大会(宝田議長、議員)
- 31日 議会運営委員会、全員協議会

9 月

- 5日 第3回定例会(第1日)
- 6日 総務文教常任委員会
- 7日 まちづくり厚生常任委員会
- 8日 神崎中学校体育祭
- 13日 第3回定例会(第2日)
- 14日 第3回定例会(第3日)
- 16日 神崎小学校、米沢小学校、米沢保育所運動会
- 17日 神崎町敬老大会(宝田議長、木内議員)
- 27日 議会広報編集特別委員会
- 29日 神崎保育所運動会(宝田議長)

10 月

- 7日 第56回町民運動会
- 12日 佐原の大祭・鑑賞会及び意見交換会(宝田議長、議員)
- 22日 県道成田神崎線整備促進要望(宝田議長、木内議員)
香取広域市町村圏事務組合議会(宝田議長、成毛議員)
- 24日 議会広報編集特別委員会
- 28日 神崎町文化祭(芸能発表会)(宝田議長)
- 29日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会(石井議員)

千葉県町村議会議員研修会

8月2日、オークラ千葉ホテルを会場に、町村議会議員研修会が開催され、県内各町村から225名の議員並びに事務局職員が参加し、本町からは、宝田議長ほか7名の議員が出席しました。

研修会は、元板橋区の職員で、現在跡見学園女子大学教授の鍵屋 一氏から「災害時の議会、議員の役割」と題した講演があり、その後、新潟県立大学准教授の田口一博氏から、今年3月総務省で公表した「町村議会のあり方に関する研究会報告書」の内容について詳細説明がありました。



町村議員研修会

香取郡市町議会議員研修大会

8月24日、東庄町公民館で、平成30年度香取郡市町議会議員研修大会が開催されました。この研修大会は、香取郡市町議会議長会の主催により毎年開催されています。当日は、1市3町の議員をはじめ、林幹雄代議士ほか多くの来賓を迎え、本町からは議員9名、町長、総務課長が出席しました。研修は、持続可能な地域社会総合研究所の藤山 浩所長から「地元を創り直す時代～持続可能な地域社会に向けて」と題した講演が行われました。また、研修会に先立ち、木内、石橋、鈴木議員の3名が、香取郡市町議会議長会の自治功労賞を受賞されました。

編集後記

猛暑日の続いた夏が過ぎて、ようやく涼しくなり、吹く風も冷たく感じる季節となりました。

さて、神崎町は前回の町議選が無投票になりました。昨今、地方議員のなり手が少ないと言われていますが、はたして本当にそうなのでしょう。議員は、誰にでもできるものではないと思いませんか。議員は年齢の上限がなく、町を良くしたいという思いのある人なら、誰にでもできる仕事です。

ただ、家族が生活できる報酬額ではないので、特に定年後のみなさんに呼びかけます。生きがいづくりや地方貢献のために議員に立候補してみませんか。

これからも、開かれた議会をめざしてがんばります。

鈴木節子